

## 普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)6月23日

所属名：湖東農産普及課

番号：F21007

部門分類：120 麦・豆・雑穀

発信者名：木村、須戸、鋒山

## 愛荘町で大豆の雑草対策研修会を開催

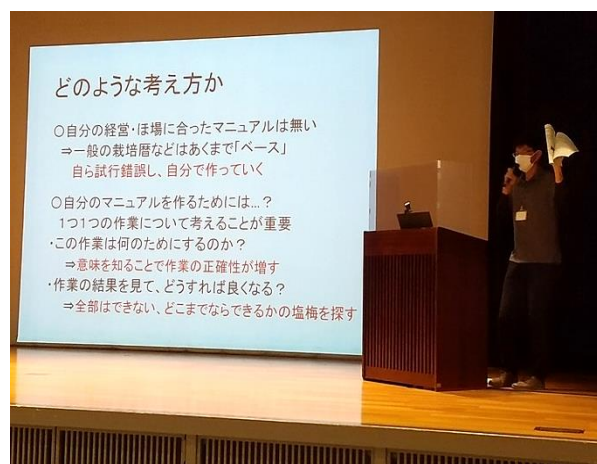
6月3日に市町およびJA東びわこ、全農しがとの連携による大豆の雑草対策研修会を開催し、愛荘町から生産者22名が出席されました。当課は研修会の講師として参加し、管内の優良生産者の事例を基に大豆の雑草対策について説明しました。

愛荘町では約270ha（管内作付面積のおよそ1/4）で大豆が栽培されていますが、近年は収量低迷が続く問題となっています。実際に令和2年度の平均収量は98kg/10aと管内平均の116kg/10aを下回っています。こうした要因の一つに「雑草害」があり、生産者からは効果的な雑草対策を求める声が挙がっていました。

当課からは管内の優良大豆生産者からの生の声を交えて「基本技術の徹底」や「各管理作業の意義・目的」を説明し、基本技術の更なる励行を促しました。

参加者からは「イヌホオズキ」や帰化アサガオ「マルバルコウ」の防除方法等について質問があり、関係機関より効果的な薬剤の選定や薬剤の適正使用方法が説明されました。

当課では愛荘町での更なる大豆収量の向上を図るため、引き続き市町やJA東びわここと連携して大豆の雑草対策について生産者を支援していきます。



管内大豆生産者の優良事例を基に  
大豆の雑草対策について説明



説明を受ける参加者